

予防鍼灸研究会（SGPAM）

第 11 回定例会抄録

テーマ：コロナ後遺症のケアと養生

2022年11月27日

目次

新型コロナ後遺症に対する鍼治療の 1 例	佐藤哲郎	2
自分がコロナになってわかったこと	後閑美樹子	3
脳神経内科外来における Neuro-COVID-19	足立克仁	4
神経症状の後遺症を中心に	藤田浩司	5
効果的なツボと養生.....	平地治美	6
コロナ後遺症のケアと養生 漢方による対応.....	恵紙 英昭	7

新型コロナ後遺症に対する鍼治療の 1 例

セタガヤ治療室 分院 佐藤哲郎

「抄録」 **目的**：新型コロナウイルス感染症罹患後症状(いわゆる後遺症)について、鍼治療を経験したのでその治療と注意点について報告する。

症例：36 歳女性、職場にてクラスター発生、PCR 陽性、新型コロナ後遺症、筋痛性脳脊髄炎 / 慢性疲労症候群疑いと診断。全身倦怠感、頭痛、頸肩部のコリ、嗅覚味覚障害、37 度前後の微熱、目眩などが発現。

治療・経過：主治医による投薬、生活指導と耳鼻科での上咽頭擦過療法、及び漢方に加え、鍼にて労作後倦怠感(Post-exertional malaise ;PEM)に注意しながら 16 号ステンレス鍼を 4mm 程度刺入、10 分置鍼した。初診時の治療後から翌日にかけて眠気を感じ、治療の翌々日以降 2 日ほど寝込む状態になり PEM を引き起こしたと考えられた。2 診目で刺激量を軽くした所、頭痛が軽快し治療を継続できた。

結論：罹患後症状には現在集学的な治療が行われている。PEM と呼ばれる 5?72 時間後の強い倦怠感があり、これを起こすと筋痛性脳脊髄炎 / 慢性疲労症候群に移行することがある。そのため、通常より軽刺激による刺鍼で PEM を防ぎながら鍼灸治療を行うことが重要であるが、今回注意したにも関わらず PEM を引き起こした。しかしながら、その後の刺激量を調節することにより治療を継続でき、症状の改善に寄与できたと考えられる。

(本文 568 字)

自分がコロナになってわかったこと

はりとお灸 ほとり堂 後閑美樹子

「抄録」 目的：今年 7 月末に Covid19 に罹患した。鍼灸師として臨床で後遺症の患者様を治療する立場であり、罹患中の症状や後遺症の知識はあるつもりであった。しかし、罹患してみなければわからない辛さを知り、治療も変わった。罹患者へのケア、アドバイスもより具体的なものとなった。仕事に復帰してからは、しばらく全身倦怠感、ギックリ腰、肘部管症候群など様々な後遺症に悩まされることとなり、様々なセルフケアを試みた。特に有効であった養生法についても報告させて頂く。

内容：①発症の経緯および経過 ②療養中の過ごし方 ③療養期間明け～長引く倦怠感 ④試して有効であった養生法など ⑤罹患後にお迎えした患者様について～注意すべき点 ⑥まとめ

結論：「コロナ後遺症」の症状は多彩かつ個人差がある。仕事に復帰後も長く不定愁訴に悩まされる人も多く、本人でなければ理解することが難しい。周りの人々の無理解がその苦痛を増悪させることもある。自分自身が長く倦怠感から抜け出すことができなかつたために、後遺症を訴える患者様により親身に対応できるようになった。また、有効なセルフケアにより日々を過ごしやすくなることもわかったので、一回の治療で効果を出すことばかりでなく患者様に実行できるセルフケア術をお伝えすることも大切な役割であると痛感した次第である。

(本文 566 字)

脳神経内科外来における Neuro-COVID-19

小川病院糖尿病/物忘れセンター長 足立 克仁

「抄録」目的：当院の脳神経内科外来で経験した Neuro-COVID-19(COVID-19 の神経障害)の特徴について報告する。

対象と方法：オミクロン株が猛威を振るった時期、2022年8月～9月の COVID-19 連続20例について調査した。別に、COVID-19 併発疑いの脳卒中 1 例も述べる。

結果：1. 対象20例；(1)年齢は2～84歳、平均47歳、男女同数で、新型コロナワクチン接種は17例、未接種3例であった。(2)急性期症状は微熱～39.2度が18例、咳と咽頭痛は約半数に、次いで倦怠感が多くみられた。(3)神経障害は、同ワクチン未接種2例を含む9例に急性期の頭痛がみられた。なお、味覚・嗅覚異常や脳卒中等はなかった。

2. 脳卒中の50代女性では、既往に高血圧、2型糖尿病があり、10日前に同ワクチン初回接種した。微熱が出現し、新型コロナ PCR 検査したところ陽性が判明した。3日後呼吸困難で救急病院入院し人工呼吸管理となった。この時塞栓性脳梗塞を併発し、左共同偏視、右麻痺が出現した。その後軽快し3週間からリハビリ開始した。当科には半年後独歩で受診した。右不全麻痺と言語障害がごく軽度認められた。

考察：Neuro-COVID-19 として、オミクロン株では感染症による二次性と考えられる頭痛が前面に現れた。また頻度は少ないが過凝固状態が考えられる脳卒中にも留意を要した。

(本文 580 字)

神経症状の後遺症を中心に

徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野 藤田浩司

「抄録」 目的：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）罹患後症状、とくに神経症状について概説する。

対象と方法：関連文献を評価し、要点を抽出した。

結果：COVID-19 罹患後にさまざまな神経症状を呈しうるため、それらへの対応が必要であることが確認された。

結論：COVID-19 罹患後症状とその対応について概説した。

(本文 160 字)

効果的なツボと養生

和光鍼灸治療院・漢方薬局代表 平地治美

「抄録」目的：コロナ後遺症に有効なツボや養生について報告する。

対象と方法：来院した患者に対して治療とともにセルフケアのやり方を指導した。後遺症の悪化、長期化の背景には飲食の不節により作られた痰飲、ストレスによる気鬱、などがあるが、これらは養生により改善できることが多い。また、後遺症の原因と推察されている『脳の炎症』は運動により悪化することもあることから、通常の養生指導とは異なる側面もある。これらに配慮して、患者一人一人に適した養生指導をするよう心がけている。

結果：治療や漢方薬の服用と養生を併用した結果、良好な結果を得ることができた。

結論：コロナ後遺症の治療において、効果的なツボに施術し、養生の指導をすることによって良好な結果を得ることができた。

(本文 333 字)

コロナ後遺症のケアと養生 漢方による対応

久留米大学医療センター/先進漢方治療センター教授 恵紙 英昭

「抄録」新型コロナウイルス感染症の後遺症で、日常生活や仕事・学業などに支障をきたしている患者には心身両面からのアプローチが必要です。長期入院や自宅療養で生じるストレスや長期臥床による筋力低下、感染が遷延したことによる症状、感染後の虚脱、虚弱などを認めます。処方例として、疲労感・倦怠感には補中益気湯、十全大補湯、人参養栄湯、咳には湿性咳嗽には柴朴湯、清肺湯、乾性咳嗽には麦門冬湯、滋陰降火湯、咽頭痛には小柴胡湯加桔梗石膏、睡眠障害には酸棗仁湯、抑肝散、抑うつ気分には加味帰脾湯、脱毛には十全大補湯、人参養栄湯、下痢には平胃散、嗅覚障害には当歸芍薬散、味覚障害には補中益気湯などです。症状に対して薬能を生かした漢方治療を紹介します。

(本文 317 字)